

表：「食」分野日光ブランド一覧

カテゴリー	番号	認定地域資源名	カテゴリー	番号	認定地域資源名
水	1	日光商工会議所の日光水物語	肉	40	ケーアンドティーコーポレーションの日光 HIMITSU 豚
	2	登屋本店の鬼怒川サイダー		41	日光グルメやまなかの無添加ハム・ソーセージ
地酒	3	片山酒造の原酒柏盛		42	坂文精肉店のコロッケ
	4	渡邊佐平商店の純米吟醸日光誉	43	ますや肉店のコロッケ	
天然水	5	松月氷室の天然水	米	44	乙女屋のおにぎり
	6	日光天然の水 四代目徳次郎		45	ふだらく本舗のゆばむすび
調味料	7	日光みそのたまり漬・上澤梅太郎商店の日光味噌	郷土料理	46	栗山地域の囲炉裏料理
	8	神保栄三久商店の野州吟醸味噌		47	栗山地域のぼんたい餅
	9	小野口商店のたまり漬の素	和菓子	48	二宮堂の花林糖まんじゅう
	10	ペンギンマークのユニオンソース		49	久埜の和菓子
そば	11	日光手打ちそばの会の日光夏そば		50	菓子処本沢屋のだんご
	12	日光手打ちそばの会の氷温寒熟そば		51	松屋総本店の尊徳饅頭
	13	日光寒ざらし蕎麦生産者組合の日光寒ざらし蕎麦		52	和田菓子店の武平まんじゅう
野菜	14	鶏頂山生産組合の高原ほうれんそう		53	菓匠おしやまの生大福
	15	大室ユブラ沢湧水地のわさび		54	さかえやの揚げゆばまんじゅう
わさび	16	山王わさび園のわさび		55	日昇堂の日光はじまり羊羹
	17	高橋わさび園のわさび		56	ふるさとのあけび
まいたけ	18	日光きこの園の日光まいたけ		57	日光宮前だんごの宮前だんご
山の幸	19	日光山椒園の日光山椒の木の芽		58	御菓子処青柳の豆大福
	20	阿部商店の山菜		59	おおあみの鬼怒川かりんとうまんじゅう
漬物	21	日光みそのたまり漬・上澤梅太郎商店のたまり漬		60	虎彦製菓のきぬの清流
	22	けっこう漬本舗の日光のけっこう漬		61	御菓子司青柳の足字銭最中
	23	樋山昌一商店の日光ろばたづけ		62	安塚菓子店のあんこ玉
ゆば	24	太子食品の生ゆば	63	ふる里本舗の平家最中	
	25	日光食品のゆば	米菓	64	丸彦製菓 日光おかき工房の米菓
	26	日光ゆば製造のゆば		65	酒井米菓の鬼怒川せんべい
	27	松葉屋のさしみゆば	66	アカバネの今市小判	
豆腐	28	平家湯波のゆば	洋菓子	67	片山酒造の酒ケーキ
	29	太子食品の豆腐		68	ダイエーのとちおとめチーズケーキ
30	松葉屋の手造り豆腐	69		日昇堂の日光ラスク	
麺	31	千休日光の至高そば日光	70	鬼怒川お菓子の城のチーズケーキ	
	32	福島商店の麺	71	パウムクーヘン工房はちやのパウムクーヘン	
	33	藤谷商店の日光すかい麺日光ゆばとさんしょのコーボ麺	甘味	72	大笹牧場のソフトクリーム
ところてん	34	北野谷商店のところてん		73	日光ろばたづけ森友店の醤油ソフトクリーム
	35	北野谷商店の日光杉並木こんにやく		74	黒須製菓所のあんこ
こんにやく	36	野口食品商会のこんにやく		75	日光翠園の杏仁豆腐
	溪流魚	37	清滝養鱒場のヤシオマス	※詳しい情報は市ホームページ(https://www.city.nikko.lg.jp/hisho/nikkobrand_food.html)に掲載しています。携帯電話やスマートフォンからは、QRコードを使うと便利です。	
38		大滝の大滝日光サーモン			
39		三依溪流つり場の山椒の実入り岩魚の甘露煮			

「食」分野の 日光ブランドを 認定しました!

くわしくは
秘書広報課 シティプロモーション推進室 ☎21-5135



市は、日光の価値や魅力を高め地域活性化や産業振興につなげるため、日光ブランド認定制度を実施しています。これまでに、自然や歴史、文化、風習などの「もの」や「こと」を認定し、全国に発信してきました。そしてこれらの日光ブランドに加え、新たに「食」分野の地域資源を認定しましたので、ご紹介します。

食の日光ブランドって?

日光ブランド「食」分野は、「特選日光ブランド」と「日光ブランド」の2つに分けられます。

◎特選日光ブランド

日光の「食」のイメージを牽引するものです。平成27年2月に「日光の名水」、「日光の手打ちそば」、「日光の天然水」、「日光の湯波」、「日光老舗名店会」の4種1団体を認定しました。

◎日光ブランド

地域に点在するさまざまな地域資源です。75件の個別商品などを、1月に認定しました。

どうやって展開していくの?

観光客や市外在住者など、外部から見た日光の「食」は印象が弱く、湯波やそばなどに偏っています。これらのイメージを打破するため、「日

光ブランド」を活用し、インパクトが強く、多様な食のイメージをつくっていきます。

今後、日光を訪れる年間1,000万人の観光客に向けて情報を発信していくことで、地域経済の活性化と満足度向上を目指します。

日光ブランドの発信方法は?

日光ブランドに認定された地域資源は、市のホームページやパンフレットへの掲載、都内に開設した観光情報発信センターやイベントの開催などを通じて広く発信します。また、「食」分野については、ふるさと日光応援寄付金(ふるさと納税)の返礼品として活用しています。



認定制度の今後は?

今後は、既に認定した自然や歴史、文化、風習、食の5分野に加え、伝統工芸や先端技術など「産業」や「技術」の認定も行います。また、生活・環境・健康など、市民生活の向上や市のイメージアップにつながる優れた取組についても認定を行い、日光の「暮らし」「住みやすさ」などの発信を広く行っていきます。

日光ブランドを巡ろう!

日光ブランドは、観光客など外部向けの取り組みだけではありません。日光在住の方にも、今まで知らなかった魅力に触れ、愛着を持ち、自ら良さを発信してもらうことが大きな目的です。今回、「食」分野として認定された75商品を、ぜひ食べ歩いてみてはいかがでしょうか。